

講義名	日本語資格試験講座Ⅱ【留学生科目】		
科目区分	留学生科目		
担当教員	野村 由香里		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

日本語能力試験N1の合格を目指し、文法を中心に授業を行う。まず文法の意味と接続の形を様々な例文を挙げながら理解をする。また、学習した文法項目が日常でもつかえるように、例文作り等も行う。

到達目標

1. N1に合格できる文法力を身につける
2. 学習した文法項目を実際にも読んで、聞いたりした時に分かるようになる
3. 既習の文法を使い、例文を作ることができるようになる

提出課題

授業中に指示

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

授業中に個別に指示

評価の基準

中間試験（50%） 期末試験（50%）

履修にあたっての注意・助言他

1. 出欠確認は毎回点呼を行う
2. 5回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない
3. 授業が始まって15分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻3回で1回の欠席となる
4. 15分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい）
5. 授業時には辞書を携帯すること

教科書

. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

1. 『くらべてわかる日本語表現文型辞典』大阪YWC A Jリサーチ 2009 ISBN978-4-901429-72-6
2. 『スーパ-合格日本語能力試験N1文法対策標準テキスト』行田悦子他著 秀和システム 201 ISBN 978-4-7980-2564-3 C0081
3. 『日本語文型辞典』グループ・ジャマシイ くらしお出版 1998 ISBN 4-87424-154-9

授業計画

1. 授業内容や評価方法の説明/N1文法のチェック
2. 「同時に、すぐに」という意味を表す機能語①
3. 「同時に、すぐに」という意味を表す機能語②
4. 「同時に、すぐに」という意味を表す機能語③
5. 「理由・逆説・仮定」という意味を表す機能語①
6. 「理由・逆説・仮定」という意味を表す機能語②
7. 「理由・逆説・仮定」という意味を表す機能語③
8. 中間理解度試験の実施とその解説
9. 「目的や驚きの表現」という意味を表す機能語①
10. 「目的や驚きの表現」という意味を表す機能語②
11. 「目的や驚きの表現」という意味を表す機能語③
12. 「程度ととりたて」という意味を表す機能語①
13. 「程度ととりたて」という意味を表す機能語②
14. 「程度ととりたて」という意味を表す機能語③
15. 総復習及び期末定期試験の傾向と対策

授業形態（アクティブ・ラーニング）

- ア：PBL（課題解決型学習）
- イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
- ウ：ディスカッション、ディベート
- エ：グループワーク
- オ：プレゼンテーション
- カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

1. 授業前には学習する新しい機能語に目を通しておくこと
2. 授業後、学習した機能語の意味と接続の形を理解、定着させるために、実際の問題を何度も解いてみる
3. 既習の機能語が日常どんな場面で使われているかに注意し、積極的に使用すること

以上、1時間程度。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考